

# 令和7年度 広陵町子ども・子育て会議 議事要旨

日時:令和7年6月4日(水)午後1時30分～午後3時30分

場所:広陵町役場 3階 大会議室

## 1. 会議次第

---

### 1. 開会

### 2. 教育長あいさつ

### 3. 会長あいさつ

### 4. 議事

- (1)計画と実績の比較及び令和6年度各課取り組みの進行状況について
- (2)広陵町子どもの生活実態調査、子ども・若者の意識調査報告書について
- (3)こども計画策定に係るこどもの意見聴取について
- (4)その他

### 5. 閉会

## 2. 配布資料(事前送付分含む)

---

### ・会議次第

### ・広陵町子ども・子育て会議委員名簿

### ・資料1 「広陵町子ども・子育て会議」の概要について

### ・資料2 計画と実績(令和6年度)の比較について

### ・資料3 各課取り組みの実施状況及び評価

### ・資料4 広陵町こども計画策定に向けたこどもの意見反映ワークショップ開催要項

### ・広陵町子どもの生活実態調査、子ども・若者の意識調査報告書

## 3. 会議出席者

---

委員 16名のうち11名出席

事務局 10名

オブザーバー 1名

## 4. 議事要旨

---

### 1. 開会

事務局の進行により開会

### 2. 教育長あいさつ

「委員の皆さまにはご多忙の中出席をいただき感謝申し上げます。季節で言えばもう6月に入っ

た。そろそろ田植えも始まる時期かと思う。先日5月25日に町政説明会を実施した。広陵町も今年度で70周年を迎え、70周年を記念した行事を進めていこうということで、町政説明会に加え、こどもたちを中心としたイベントを開催した。

前年度からこども局は教育委員会事務局に編入し、今年度からこどもまんなか部となった。教育委員会もさわやかホールに移転し、こどもや子育てに関することが一元化され、より密な連携を取れるようになったと思う。

今回は第1回目の会議であるが、また皆さまから活発な意見が頂ければと思う。」

### 3. 会長あいさつ

〈会長〉

「本日は皆さまご多忙の中参加いただき感謝申し上げます。こども会議ではこどもたちから体育館にクーラーを設置して欲しいという要望が出ていると伺っている。先週保育園に調査に行った際、最近のこどもたちはトイレの前で、トイレのフタが開くことや自動で流れることを待っていることに驚いた。お箸を持つことができるようになるまで1年くらい遅れているということも聞いており、便利な世の中になる一方でこどもたちの発育発達が遅れていっていることを危惧している。便利な世の中になってきている中で、こどもたちの健全な発育発達を促すために、私たちにどのようなことが出来るのか一生懸命考えていきたいと思う。」

### 4. 議事

〈事務局〉 議事(1)について説明

配布資料に沿って、計画と実績の比較及び令和6年度各課取り組みの進行状況について説明。あわせて、広陵町子ども・子育て会議、広陵町こども計画の策定についての説明と確認を行なった。

〈事務局〉議事(2)について説明

広陵町子どもの生活実態調査、子ども・若者の意識調査報告書について説明。

こども計画策定において特に重要な部分を抜粋して10ページ程度にまとめたものを配布し、次回会議で改めて説明を行なう。

〈会長〉

「議事1番と2番について、委員の皆さんにご質問やご意見をお聞きする。」

〈委員 A〉

「各課取り組みに実施状況及び評価の「支援体制と情報提供の充実」について、以前の会議でも委員から意見が上がっていたと思う。子育て応援サイトが新設されたが、それに対しての周知はどのように行なったか。また今後さらにどのように周知していくのか教えてほしい。

第3期子ども・子育て支援事業計画の概要版について、乳児等通園支援事業は令和8年度実施予定の事業だが、もう既に実施していると誤解されないように、いつ実施予定か記載した方が良

いと思う。また概要版も、どのように情報提供、周知を進めていくか教えてほしい。」

→〈事務局〉

「子育て応援サイトについては、乳幼児健診の際や、幼稚園保育園等で新しいサイトを作ったというのを伝える形で情報提供している。ほかの方法も今後は検討しながらやっていきたいと思う。今後もイベント等の際で PR ができればと思う。

概要版については役場内の関係部署で検討し、イベントの中で配布するなど、方法を考えていきたい。」

〈会長〉

「ホームページが見やすくなってとても良くなったと思う。ただ、窓口の連絡先が電話のみなので、ほかの方法はないか。また、申込みフォームが PDF で添付されているが、PDF だとプリントアウトしてから記入しないといけないため、印刷機がない家庭はどうかと疑問に感じた。」

→〈事務局〉

「電話以外にもメールでも各課に連絡する方法はあるが、別のページから探す形になっているので、その点はもう少し見やすい方法を検討していきたい。

また PDF での申込みのことについては、原則は紙で打ち出して、署名をもらわなければならないものが多い。ただし、全てのものがそうではないため、今後は ICT の技術を使って申請ができるように国も進めているところ。ICT 技術を使用して、インターネットでやりとりや郵送など、窓口に来なくても可能な方法を検討しながら進めていきたいと思う。」

〈委員 A〉

「アンケートの中で、子育て支援サービスが充実していないと回答されるのはとても残念に思う。これだけ頑張っておられるのに、支援がないと思われたら残念だと思うので、情報提供とともに周知を進めていただければと思う。

もう一つ提案にはなるが、子ども子育て支援事業計画には、「地域づくり」という言葉がずっと残っている。第3期の基本理念は「ともにこどもの未来を応援する地域づくり」となっている。子ども・子育て支援事業計画の住民ニーズの状況で、26 ページにある、「地域の方々に子育てを手助けしてもらってよかったこと」についての項目で、「特にない」と回答した方が前回調査の時より10%以上増加している。10 年前は今の半分ぐらいだったが、この 10 年で倍増したということで、このまま放っていたら地域の人とのつながりはどうなってしまうのか。

計画の推進をまとめているが、行政ができる範囲というのは限られていると思う。地域づくりを本当に実現するとしたら、ボランティア団体も含め、たくさんの地域の方々に関わってもらえるような仕組みが必要ではないか。」

→〈事務局〉

「第 3 期子ども・子育て支援事業計画の中身について、住民をはじめ、関係団体等と協力していく必要があるとは記載している。ただし実際は保護者の方がどれだけ地域を頼っているかということもあると思う。地域に頼ることは特にないという原因は、地域とのつながりが少なくなってきたり家庭があるのが一つ、行政サービスが充実することによって地域に頼る必要がなくなってきたり

ている側面があると考えている。事務局としても、地域のみなさまと子育てを進めていきたい。」

〈会長〉

「この10年で変わったことは、新型コロナの影響ではないかと思う。コロナの影響で地域のイベントが無くなったりして、交流が減っていると思う。地域ボランティア団体の力を借りて、交流の場を設けることができればと思う。」

〈教育長〉

「広陵町の自治基本条例の1番のキーワードは「協働と参画」で、これは行政だけでは絶対できないことである。地域の方と共に何かを進めていくためには、横のつながりが必要だと思う。50年ほど前のような、地域とのつながりを強くするような方法を考えて行かなければならないと思う。」

〈事務局〉議事(3)について説明

こども計画策定に係るこどもの意見聴取(こども計画ワークショップ)についての説明を行なった。

〈会長〉

「議事3番について、委員の皆さんにご質問やご意見を順番にお聞きする。」

〈委員B〉

「こどもたちにも言い分があると思う。こどもたちに、大人が約束して欲しいことを聞いてみて、大人にはこどもに守ってもらいたい約束事を決める。このように、こどもたちがどのようなことを考えているとか、そのような話し合いができれば良いと感じた。」

〈委員A〉

「ワークショップ当日に参加するまでにこどもたちに、広陵町の好きな自然や歴史などを探してきてもらい、それを文字や絵などにして共有する時間があれば良いと思う。こどもたちがどんな風に好きなのところを見ているのか見たいと思った。」

〈委員C〉

「小学生のこどもたちがどのような考えを持っているのか分からないので、こどもにもルールを決めて一緒に進めていくような内容がいいと思う。」

〈委員D〉

「このような機会でも、こどもたち自身がこの場でこのようなことを思っていると意見を吐き出せる場になってほしい。」

〈委員 E〉

「候補に挙げているテーマをいくつか広報に出して、当日参加したこどもに決めてもらうやり方も一つの手だと思う。自分たちで決めたことであれば活発な意見が出るのではないかと思う。」

〈委員 F〉

「こどもは学校で1日の大半を過ごすと考えたので、こんな授業があればいいなといった話があったらいいなと考えた。」

〈委員 G〉

「こども計画を策定するための意見反映としてワークショップを開催すると認識しているが、町の施策に反映するのであれば、広陵町でやってほしいことや、困っていることなど、町の施策に具体的に取り入れやすい内容の方が良いのではないかと思う。」

〈委員 H〉

「ワークショップについて、こどもたちは知っているか。」

→〈事務局〉

「こどもたちへの周知はまだしていない。本会議を受けて、チラシ等作成し、学校に配布をお願いする流れになる。現在は、広報とホームページで掲載しており、募集している状況。」

〈委員 H〉

「放課後デイサービスに携わっているが、そこに来られたこどもが参加を希望していることを言っていた。こういうことを言いたいと言っていたので、話したいことを聞いていただける場にしていただければと思う。」

〈委員 I〉

「言いたいことがたくさん言えるようなところはとても大切なことだと思う。昨年、こども会議で広陵町内の小・中学校の代表が集まり、そのときのテーマが「笑顔溢れる広陵、笑顔溢れる広陵町にするために」というところで、考えやすかったと思う。提示いただいているテーマで言うと、「こんな大人になりたい」や、「こんな大人が増えてほしい」は考えにくいと思う。この中で言うと、「幸せな町」がいいと感じている。ワークショップ開催について、募集は6月1日からとなっており、周知はされているが、まだ詳細がわからないので、詳細が分かり次第、できる限りの周知と声かけをしていければと思う。」

〈委員 J〉

「こどもの中には、おしゃべりが得意な子もいれば、おしゃべりが苦手だが、文字で一生懸命表して手紙として持ってきてくれる子もいる。ワークショップ中も緊張しながらになると思う。いろいろな声を聞くのであれば、絵や作文など、さまざまな表現方法で発表できる場となれば、いろいろな声が出てくるかと感じた。テーマについてだが、こんな大人になりたいということに絞ったりするよ

り、「笑顔溢れる広陵町」のようなテーマであれば、こんな遊具があれば遊びにいきたいなどの意見が出てきたり、子連れで安心して遊べる場所が増えればサービスもまたプラスされていくのではないかと感じた。」

〈教育長〉

「今、ウェルビーイングという言葉が日本でもよく言われだしている。単純に訳せば「よい状態」となるが、いきいきする、わくわくする、幸せなものなどという捉え方も考えられる。抽象的ではあるが、このようなところで子どもたちにとってわくわくするものはなにか、いきいきするものは何かないか、そのような点も、一つの案にしていだければ。」

〈会長〉

「子どもたちから広陵町の好きなおとろや素敵なおとろを言ってもらえると、「そこがいいんだ、もっと推していきたい」と思う。また、こうなってほしいなどの子どもたちの純粋な意見もあればと思う。子どもたちから我々の発想にないものが出てくると考えると楽しみである。」

〈事務局〉

「貴重なご意見感謝申し上げます。小学4年生の子どもと22歳の若者が同じ会議でどのような意見を言えるのか、委員さんのおっしゃるとおりだと思ふ。若者のほうが意見を出したら、今度小学生が意見を出して話ができるのかという懸念は考えられる。その対応策として、グループ分けの際、参加者の年齢をグループ毎に偏らないようばらけさせて編成し、そこにファシリテーターをつけてすべての参加者から意見をいただく方向に持っていきたいと考えている。限られた時間の中で、どこまで子どもたちの声を聞けるかということになっていくが、広陵町の素敵なおとろはどういったところか聞いた上で、将来どのような町になってほしいのかを聞いていけたらと考えている。町の素敵なおとろを言ってもらうタイミングで、今自分がどんな気持ちで、どのように生活しているのか、もっと私たちの話を聞いてもらいたいことがあるということも踏まえた上で意見を出してもらい、最終的に「わたしの思う幸せな町」や、「いきいき、わくわくするような町」にするにはどうしたらいいのだろう、みんなはどう思いますかという聞き方をしていきたいと考えている。先ほどいただいたご意見で、事前に何点か候補でテーマを決めさせていただいて、子どもたちや若者に候補の中から選んでもらうという方法も良いと感じた。我々だけでは決めきれないところがあるため、まずは一つのテーマに絞るのか、複数にして子どもたちに選んでもらうのか、本日お話させていただいて、そのテーマ等決定していければと思う。まずはテーマを複数でいくか、一つに絞るのか議論いただければと思う。」

〈会長〉

「委員のみなさんにご意見をお聞きする。」

〈委員 E〉

「テーマを絞るのか、複数にするのか、事務局で決めていただければと思う。」

〈会長〉

「事務局に一任でよろしいか。」

→【異議なし】

〈会長〉

「では、事務局に一任する。」

〈事務局〉

「では、2日間のワークショップの期間を設けている関係上、複数案で提案させていただければと思うが、よろしいか。」

→【異議なし】

〈事務局〉

「感謝申し上げます。では、まず一つ目は「わたしが思う幸せな町」は取り入れてよろしいか。」

→【異議なし】

〈事務局〉

「ほかのテーマについて、似たような感じの、「いきいき・わくわく・笑顔溢れる」というところになると思うが、事務局で相談し、結果を後日連絡という形でもよろしいか。」

→【異議なし】

〈事務局〉議事(4)について説明

「第2回子ども・子育て会議は6月25日13時30分から、さわやかホール4階中会議室で実施する。改めて案内させていただく。また、資料も事前に送付するので、よろしくお願い申し上げます。」

〈会長〉

「議事を終了する。」

5. 閉会

(以下余白)